~ 山形県産農畜産物の輸出に係る取り組み ~

令和2年10月30日



JA全農山形 農業支援統括部

1. 全農グループの基本的方針



~全農グループの農畜産物輸出拡大の基本的考え方~

国内市場が縮小するなか、新たな需要を開拓するために不可欠な事業と認識。継続的に拡大する事業としてグループを挙げて積極的に取組む。⇒ 海外に販路!

2. 輸出事業は究極のマーケットインの事業と認識。相手国のニーズ等の徹底的な調査とそれに対応した流通対策、産地対策が不可欠。⇒ 売れる商品づくり

- 3. 生産者をはじめとして事業全体の収支がとれることが大前提。
 - ⇒ 農家手取りの確保・輸出事業の収支確立

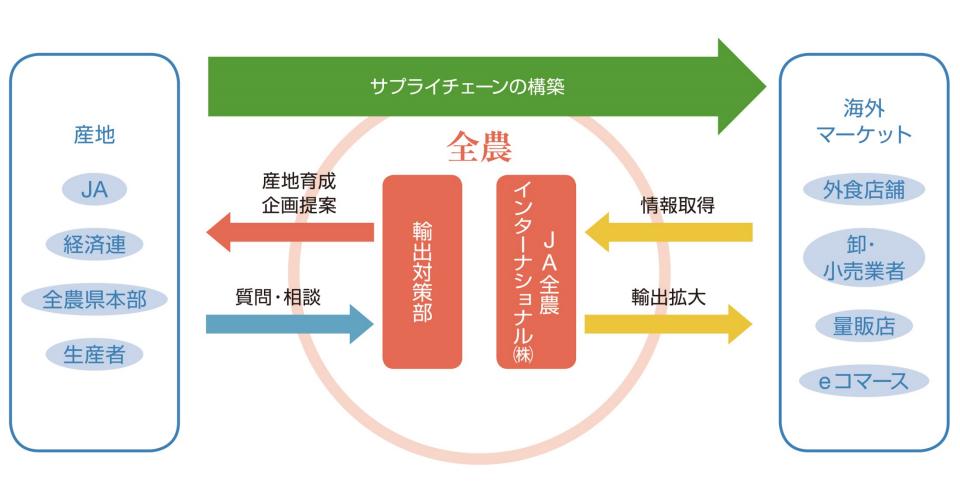
○輸出目的:海外マーケットでの収益確保

〇課 題:売れる商品づくり・売り場の確保・多段階流通・県別営業

○対 応:自ら輸出し販売する仕組み(サプライチェーン)づくり

2. JAグループの輸出事業展開イメージ



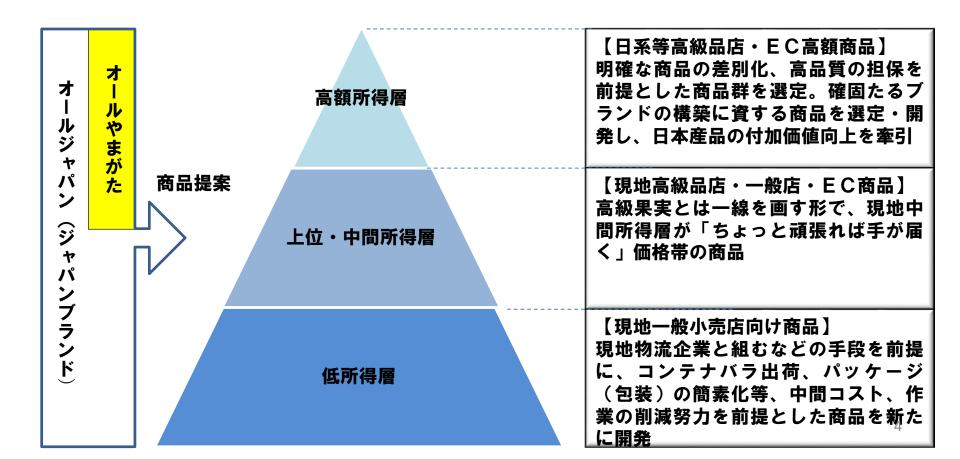


3. 山形県産農産物(JA全農山形)の輸出方策



催事中心の販売手法からの転換ならびに、海外の売り場における安定 的かつ継続的な販売先確保と販売量の拡大を目指した販売戦略を策定

- ・米穀・園芸・畜産各部門、本所(輸出対策部)、(株)全農インターナショナル、山形県、 パートナー企業等との積極的な連携強化
- ・県産農畜産物「常設販売拠点」の継続ならびに新規設置と、効果的なPR活動



4. JA全農山形の輸出実績 (令和元年度)



令和元年度 JA全農山形 国別・品名別輸出実績

	台湾	香港	タイ	シンガポール	スペイン	インドネシア	ドバイ	フィリピン	米国(本土)	米国(ハワイ)	ロシア
*											
さくらんぼ	4		4								
もも											
メロン	—	_									
ぶどう	*	*		<i>></i>							
柿											
西洋ナシ	Ĝ			Ĝ							
りんご				6							
牛肉											
豚肉											
啓翁桜		*	*	*		*	*	*			
飲料	•									•	
加工品											

5. JA全農山形の主な取り組み①



○海外「常設売場(山形県産コーナー)」の設置

(1)設置状況

店舗名	所在地	開設日
大立百貨店	台湾高雄市	平成27年6月
微風広場	台湾台北市	平成30年11月



大立百貨店外観

(2)取扱内容

項		目	品名
精		米	つや姫、雪若丸、はえぬき、無菌パック【通年】
青	果	物	さくらんぼ、デラウェア、すいか、小玉すいか、 もも、シャインマスカット、ラ. フランス、サンふじ、 シナノスイート等【5~1月常設冷蔵棚】
精		肉	山形牛【通年】
加	エ	品	ジュース、麺類、菓子類等【通年】



微風広場外観

6. JA全農山形の主な取り組み① - 2



ようこそ、IIIF A JA全機山形

微風廣場でのプロモーション 左から林会長(鼎三國際)、西川副總経理、長澤会長

販売協定締結式

左:長澤会長 右:廖鎮漢 微風集団董事長



常設販売棚レイアウト



精肉コーナー



試食販売時での賑わい

7. JA全農山形の主な取り組み②



海外での販売・プロモーション風景(令和元年度)

「ハワイ ワイキキ横丁」 (つや姫) 「台湾 微風広場」 (秋果実プロモーション) 「台湾 大立百貨店」 (秋果実プロモーション)







「タイ セントラルチットロム」 (さくらんぼ)



「シンガポール 明治屋」 (ラ・フランス)



8. JA全農山形の主な取り組み③



○海外向け品目ならびに販路拡大に向けた施策

- 1.鮮度・形状保持に優れた新包装資材の開発に向けた共同研究
 - ○共同研究先:国立大学法人山形大学
 - ○主要対象品目:さくらんぼ・シャインマスカット
 - ○実施時期 : 平成27年12月~(継続中)
- 2. 新品種「やまがた紅王」輸出に係る輸送試験
 - ○連携先:山形県園芸試験場
 - ○対象品目:さくらんぼ
 - ○実施時期:平成28年4月~(継続中)



- ○連携先:(株)山形パッケージセンター
- ○対象品目:さくらんぼ
- ○実施時期:平成30年7月
- 4.冷蔵庫を使用した長期保管試験
 - ○連携先 :(株)PSJ(株)氷感の「氷感庫」を使用)
 - ○対象品目:さくらんぼ
 - ○実施時期:平成30年7月





9. JA全農山形の輸出計画



